

テネシー日米協会とジャクソン商工会の共催によるビジネスセミナーにおける  
加藤総領事のスピーチ（5月19日）

Consul-General Kato Addresses Business Seminar in Jackson, Tennessee (May 19)



5月19日、加藤総領事は、テネシー州内のジャクソン市において行われたビジネスセミナーに出席し、スピーチを行いました。近年ジャクソン市では日本企業の進出が相次いでおり、現在6社の日本企業が操業しています。同セミナーは、日本理解を深めたいというジャクソン市商工会の考えのもと、同商工会とテネシー州日米協会との共催によって今回実現することとなりました。当日は日本企業からの出席もあり、ジャクソン市との相互交流を深める良い機会となりました。

加藤総領事のスピーチでは、アベノミクスを中心とした日本経済の状況の説明に加えて、日本とテネシー州との経済的な関係を紹介しました。

その後のレセプションでは、ジスト・ジャクソン市長よりスピーチが行われ、市は日本企業が地元の経済活性化に大きく貢献していることに感謝しており、日本人コミュニティとの交流をますます促進していきたい旨を述べられました。

On Monday, May 19, Consul-General Kato participated in a business seminar co-hosted by the Jackson Chamber of Commerce and the Japan-America Society of Tennessee (JAST). There are currently six (6) Japanese companies with operations in Jackson, TN and this seminar attracted more than 60 people looking to further their understanding of Japan.

Consul-General Kato's presentation underscored the strong Japan-Tennessee relationship and also introduced Japan's current economic situation and the impacts of Abenomics. During the reception that followed, Jackson Mayor Jerry Gist expressed the city's appreciation for the Japanese community's presence and its economic contributions.